

リハケアNEWS

Izumo Reha Care Net Newsletter



出雲リハケアネット事務局

〒160-0006 出雲リハケアネット事務局 Tel/0853-21-2733 Fax/0853-24-2906



「地域包括ケアと地域リハビリテーション」
浜村明徳先生講演会に133名集う

11月28日、出雲医師会・リハケアネット主催の講演会を医療職に限らず、介護職、福祉職、ケアマネなど多職種133名にご参加いただき、出雲市役所国引きホールで開催しました。「地域包括ケアと地域リハビリテーション」と題して医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 名誉院長で日本リハビリテーション病院・施設協会 名誉会長の浜村明徳先生から「講義いただきました」。

今日の学びを明日からの**実践**に！



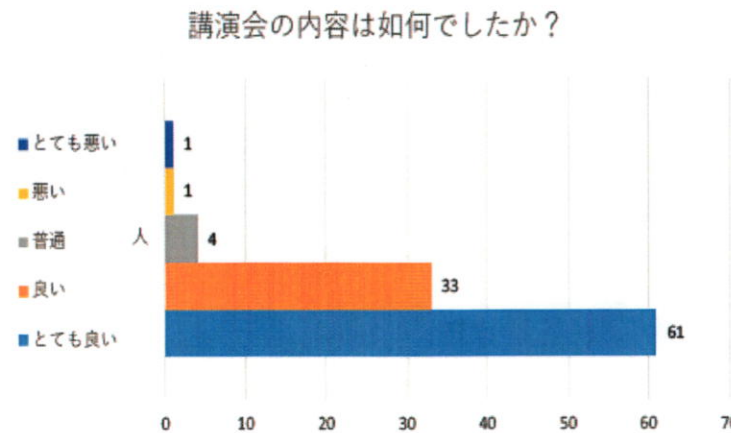
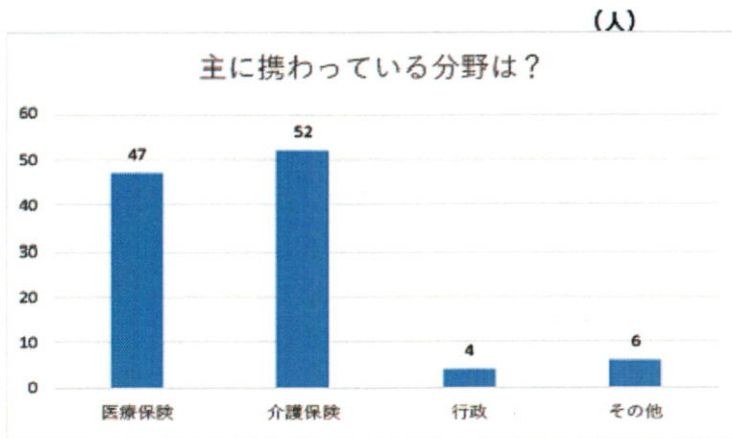
地域包括ケアがわかった！

「くらしの場」「社会参加の場」としての地域づくりが必要

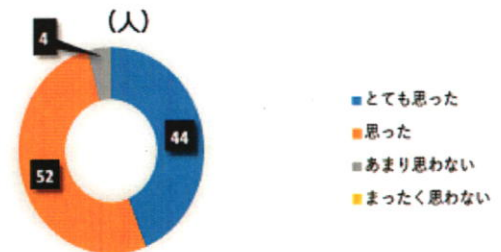
地域リハビリテーションはリハ職直接の関わりだけでなく組織化活動（円滑なサービス提供システム、地域住民を含めた総合的な支援体制づくり）と教育啓発活動（地域住民へのリハに関する啓発）がミッションとなり多職種連携が不可欠。浜村先生は数十年前からこれを実践してこられた地域リハビリテーションのバイオニア。患者のためなら半日かけて僻地へ出向き2時間もお話を伺うことも厭わない情熱の持ち主であり実践から導かれた理論には説得力がありました。また、地域リハビリテーションを担う人材づくりにもとても熱心で職員を理解するためにVTRの歌すらマスターしておられます。そんな人柄もあって職員ボランティア総数「プロボノ」には25名が登録し資格を活かしたボランティアを展開されています。つながりを失いかけている地域を再生させる可能性を秘めています。その他にも連携を円滑にするノウハウ、患者様への接し方など紹介しきれないほどの学びがありました。「この学びをぜひ明日からの実践に活かしていきたい」と感想が多数寄せられました。

「地域包括ケアと地域リハビリテーション」浜村明徳先生講演会【アンケート結果】

参加者の職種	(人)
医師	11
理学療法士	40
作業療法士	22
言語聴覚士	9
看護師	10
ケアマネ	10
介護福祉士/介護員	9
学生	6
相談員	4
事務	5
その他	7
合計	133



講演内容は今後の業務や活動に活かしていけそうですか？



→11月27日山陰中央新報より



第4回リハビリ支援塾いずも Piece up 開く



言語聴覚士の活躍で地域の底上げを！



11月20日「第4回リハビリ支援塾いずも Piece up」が37名で出雲市民リハビリテーション病院で行われました。今回の主役は言語聴覚士(SL)。ワンポイントレッスンは出雲リハビリ病院の山加SLが「摂食・嚥下について、とりあえず基礎編」と題してレクチャしました。症例報告会でも出雲リハビリ病院の訪問リハビリで理学療法士がSLの評価を依頼し口から食べられるようになった症例を藤原SL報告しました。ディスカッションの中でSLが在宅患者に関わることで成果をあげられそうなケースが多数あることがわかりました。在宅医からはスポットで支援することができないか等の要望がされました。毎日患者に関わっている多職種の方々とSLが連携することで地域の底上げができるのではないかと可能性を感じさせる企画となりました。※この会の様子は10月27日の山陰中央新報で紹介されました。